

# 実施報告書

## 平成30年度 第一回技術英語研修

日 時：平成30年6月29日（金）13：00～17：00  
場 所：名古屋大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー（VBL）4F セミナー室  
主 催：大学連携研究設備ネットワーク事業、分子・物質合成プラットフォーム  
講師紹介：サイエンスコミュニケーター&ライター 梅村綾子

プログラム：

- 13：00～Introduction
- 13：30～Explain about science keywords
- 14：30～Lecture of Science English（grammar, vocabulary）
- 15：30～Discussion of research topics
- 17：00

大学連携研究設備ネットワーク事業 研修会 報告書（個人用）

参加講習会名：平成30年度 第一回技術英語研修

日時：平成30年6月29日（金） 13:00～17:00

場所：名古屋大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー（VBL）4F セミナー室

（1）研修会の満足度を教えてください。（以下のいずれかを記入）

大変満足／満足／普通／やや不満／不満  
満足

（2）研修会への参加動機を教えてください。

来訪する日本語が話せない留学生に対して片言でも英語で対応可能にするため

（3）研修会で得たものを教えてください。

受講前は1語目以降の会話が全く発せず、沈黙の後とびとびの単語しか頭に浮かばない状況だったが、研修を受講してから英語を話す事への苦手意識が緩和された。

（4）この研修会に参加する事で、どのように機器共用・外部連携等が進むかを教えてください。

本学にも留学生が数年前に比べ格段に増えてきたので、装置取り扱いについての留学生からの質問やマニュアル作成に英語で対応できればより機器共用が進むと考えている。

（5）英語研修のプログラムについて、今後の希望等があれば具体的に教えてください。

時制の訓練（各時制の使い分け）

（6）ご意見・ご感想・ご要望等ありましたら、ご自由にお書きください。

講師の親しみ深い雰囲気もあり、恥ずかしい気持ちを捨てて話すことができました。参加は2回目ですが、前回参加の際の講師のアドバイスにより英単語を口に出す練習を少しずつ行った事で、以前より英語を発する事ができたと感じます。

大学連携研究設備ネットワーク事業 研修会 報告書（個人用）

参加講習会名：平成30年度 第一回技術英語研修

日時：平成30年6月29日（金） 13:00～17:00

場所：名古屋大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー（VBL）4F セミナー室

（1）研修会の満足度を教えてください。

大変満足

（2）研修会への参加動機を教えてください。

業務において外国人の留学生及び研究者に接する機会があるが、その際の英語でのコミュニケーションについて能力不足を感じていた。そこで、技術英語に関する研修が開催されることを知り、業務での英会話の上達のきっかけになると思い参加を希望した。

（3）研修会で得たものを教えてください。

日頃まったく英語を話すことが無く、半日ではあったが英会話に触れることによって英語に対する苦手意識が少し和らいだと感じた。さらに、今後の英会話を勉強するモチベーションアップにもなった。

（4）この研修会に参加する事で、どのように機器共用・外部連携等が進むかを教えてください。

日本の大学において、外国人の学生及び研究者が増えてきており、共用機器を管理する者とのやり取りがスムーズになることによって、機器共用・外部連携等が進む可能性があると思う。

（5）英語研修のプログラムについて、今後の希望等があれば具体的に教えてください。

受講希望者が多い大学に対して、先生が直接来ていただき研修をしていただけたらありがたい。今回初めて参加してみてとても有意義だったので、本学の技術職員に対して研修会を実施していただけたら、本学職員のスキルアップにも繋がり、大変ありがたいと思った。

（6）ご意見・ご感想・ご要望等ありましたら、ご自由にお書きください。

また機会があれば、是非参加したい。

大学連携研究設備ネットワーク事業 研修会 報告書（個人用）

参加講習会名：平成30年度 第一回技術英語研修

日時：平成30年6月29日（金） 13:00～17:00

場所：名古屋大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー（VBL）4F セミナー室

（1）研修会の満足度を教えてください。（以下のいずれかを記入）

大変満足／満足／普通／やや不満／不満

（2）研修会への参加動機を教えてください。

来校者への英語での対応力を少しでも上げたいためです。

（3）研修会で得たものを教えてください。

- ・他大学の職員の方々の英語を使った職場環境を知りえた。
- ・活用場面に応じた **could** の活かした活用例を学びました。

（4）この研修会に参加する事で、どのように機器共用・外部連携等が進むかを教えてください。

- ・研究室の測定機材等を広く学内の方へ知っていただくことにより、大学資産の有効活用への幅の広がりを展望できるものと考えます。また、そのことを通して、研究活動の外部連携に発展していくことへの期待感を感じます。

（5）英語研修のプログラムについて、今後の希望等があれば具体的に教えてください。

- ・来訪者への研究室の紹介を行う場面を想定して、場面ごとに例を挙げながらの練習をしてみたいです。
- ・極めて初歩の会話レベルでの反復練習を行いながら、実験室や機材等の紹介方法を学びたいです。研修成果を持ち帰って、直ぐにでも使いたいです。

（6）ご意見・ご感想・ご要望等ありましたら、ご自由にお書きください。

- ・これからも【ふたばプロジェクト】、がんばってください。

参加をさせていただき、ありがとうございました。今日から次回研修会のためだけではなく、またがんばります。

大学連携研究設備ネットワーク事業 研修会 報告書（個人用）

参加講習会名：平成30年度 第一回技術英語研修

日時：平成30年6月29日（金） 13:00～17:00

場所：名古屋大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー（VBL）4F セミナー室

（1）研修会の満足度を教えてください。（以下のいずれかを記入）

大変満足／満足／普通／やや不満／不満

（2）研修会への参加動機を教えてください。

技術英語を学ぶことができる機会があまりない中で、このような技術英語のトレーニングの機会があることを知り、技術英語の向上を目指し参加した。また、同じ悩みを抱える技術者間で交流ができ、情報を交換できることも参加した理由である。

（3）研修会で得たものを教えてください。

自分でも気づかずに間違っていた表現を、少しずつであるが修正していくことができた。しかし、日本語で分かっている技術的なことでも、英語で説明できないことが多く、改めてトレーニングの少なさを痛感した。また、文法での **would** の使い方は分かっているつもりであったが、深く分かっていなかったことを学べて英語会話の表現の幅が広がると感じた。

（4）この研修会に参加する事で、どのように機器共用・外部連携等が進むかを教えてください。

このような研修会に参加することで、技術者間や大学連携研究設備ネットワーク事務局の方との交流ができ、技術英語の学習により技術提供レベルが向上し、機器共用や外部連携がより進むと考える。

（5）英語研修のプログラムについて、今後の希望等があれば具体的に教えてください。

- ・具体的な技術的事例を用いた会話や説明のトレーニング
- ・相手が話したキーワードの説明を、全体に説明するというトレーニングは、良かったと思う。今後も続けて発展させてほしい。

（6）ご意見・ご感想・ご要望等ありましたら、ご自由にお書きください。

研修時間がとても短く感じるほど充実していたと思います。ありがとうございました。

大学連携研究設備ネットワーク事業 研修会 報告書（個人用）

参加講習会名：平成30年度 第一回技術英語研修

日時：平成30年6月29日（金） 13:00～17:00

場所：名古屋大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー（VBL）4F セミナー室

（1）研修会の満足度を教えてください。（以下のいずれかを記入）

大変満足

（2）研修会への参加動機を教えてください。

昨年は最後のポスター発表などに参加させてもらいました。

今年は第1回からの参加したかった。

これまでのカリキュラムがどういったものか経験してみたかった。

（3）研修会で得たものを教えてください。

英語で自分の紹介や取り組んでいる事を英語で説明する機会及び

英語の「I would, I should とかの使い方」「どのように使うのか」といった事前アンケートで質問を送った内容が聞けてよかった。

（4）この研修会に参加する事で、どのように機器共用・外部連携等が進むかを教えてください。

今年、名大の海外研修に応募しているので、採用された場合の海外での会話をする練習にはなったかと思う。また、留学生が参加する実装技術実習などで英語を話す勇気は付くと思う。

（5）英語研修のプログラムについて、今後の希望等があれば具体的に教えてください。

年数回行なう技術研鑽に参加するつもりでそれが無くなったので、定期的に行いたい。

今年初めて参加したが、1回の参加で完結するより定期的開催して欲しい。

（6）ご意見・ご感想・ご要望等ありましたら、ご自由にお書きください。

今回、良い機会が得られました。英語で話すという姿勢をもう少し積極的にしたいと思うように変わりました。

大学連携研究設備ネットワーク事業 研修会 報告書（個人用）

参加講習会名：平成30年度 第一回技術英語研修

日時：平成30年6月29日（金） 13：00～17：00

場所：名古屋大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー（VBL）4F セミナー室

（1）研修会の満足度を教えてください。

大変満足

（2）研修会への参加動機を教えてください。

- ・外国人の依頼者、実習受講者とコミュニケーションを取れる様になりたかったので。
- ・いつか、アメリカで行われているシンポジウムに行きたいと思っているため。

（3）研修会で得たものを教えてください。

- ・強く聞こえる、丁寧に聞こえるといった、相手に与える印象の部分を丁寧に教えていただいて、大変参考になりました。
- ・自分で作文して終わりではなく、それが相手に伝わったのか、伝わらなかった時はどういう風に言い換えたら伝わるのかといった、実際のコミュニケーションと同じ様に進められたので、実際の現場でもチャレンジしてみようという自信が得られました。

（4）この研修会に参加する事で、どのように機器共用・外部連携等が進むかを教えてください。

このような機会がないとなかなか交流ができない他大学で別ジャンルの方達と知り合うことができ、その方達がどの様な技術を持っているか知ることができました。それにより、今後の外部連携のきっかけになり得ると思いました。

（5）英語研修のプログラムについて、今後の希望等があれば具体的に教えてください。

現在どれくらいのペースで開かれているのか存じ上げないのですが、できるだけ頻繁に開いていただきたいなと思いました。

（6）ご意見・ご感想・ご要望等ありましたら、ご自由にお書きください。

とてもリラックスした雰囲気楽しく研修を受けることができました。先生もたくさん褒めて下さるので、失敗を恐れずにチャレンジするモチベーションとなりました。

大学連携研究設備ネットワーク事業 研修会 報告書（個人用）

参加講習会名：平成30年度 第一回技術英語研修

日時：平成30年6月29日（金） 13：00～17：00

場所：名古屋大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー（VBL）4F セミナー室

（1）研修会の満足度を教えてください。

大変満足

（2）研修会への参加動機を教えてください。

本学では多くの留学生が学生として所属しており、コミュニケーションをとる際に困らないようにするため。また、個人的なスキルアップとして英語習得を望んでいたため。

（3）研修会で得たものを教えてください。

英語を使用する良い機会となった。継続的に英語を勉強していくきっかけになった。研修でコミュニケーションをとる相手と同じような立場の人たちでネイティブでないため、英語が母国語でない留学生とコミュニケーションを取る良い練習となった。

（4）この研修会に参加する事で、どのように機器共用・外部連携等が進むかを教えてください。

世界的に母国外からの学生が入学してきており、本学においても留学生が多く在籍している。共用機器の使用方法等について、日本語を話せない学生から問い合わせを受けることもあるため、この研修会で得たことを利用して、より研究支援を充実させることが出来る。このように幅広い利用者へサポートを行うことは、機器共用を一部の学部だけでなく全学的に展開する上で重要な点であるといえる。

（5）英語研修のプログラムについて、今後の希望等があれば具体的に教えてください。

（6）ご意見・ご感想・ご要望等ありましたら、ご自由にお書きください。



大学連携研究設備ネットワーク事業 研修会 報告書（個人用）

参加講習会名：平成30年度 第一回技術英語研修

日時：平成30年6月29日（金） 13：00～17：00

場所：名古屋大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー（VBL）4F セミナー室

（1）研修会の満足度を教えてください。

大変満足

（2）研修会への参加動機を教えてください。

走査型電子顕微鏡などの分析機器の保守管理と利用講習を担当しています。機器使用の際の注意事項の説明やトラブル発生時の注意喚起など、留学生や外国人スタッフと英語でコミュニケーションをとらないといけない場面が増えています。技術的な会話で質問に対して答えるときは、単語を並べただけの会話になっており、分かりやすい間違いのない英語で説明できるようになればと思います。参加しました。

（3）研修会で得たものを教えてください。

講師の先生が、留学先の英語の授業でパラフレーズを繰り返し練習し、パラフレーズができるようになって、ネイティブと会話ができるようになったというイギリス留学時の経験を紹介されたが、自身の英語での技術的なコミュニケーション能力を高める手段として、パラフレーズ(Paraphrasing)の練習をしようと思います。

日本語での会話や文章作成では、パラフレーズを意識せずにしていると思いますが、研修での自己紹介や他己紹介の場面でも、分野の違う方に英語で何かを説明するとなると、言葉を換え言い方を換えないと意図することが上手く伝えられないことがよく分かりました。

時制や仮定法での表現など、忘れてしまっている英文法についての説明を分かりやすくしていただいた。文法や言い方を間違えると、ネイティブに違う意味にとらえられる可能性があることを再認識しました。

(4) この研修会に参加する事で、どのように機器共用・外部連携等が進むかを教えて下さい。

講習会では、留学生や外国人スタッフと業務の上で技術的な会話をする場合に、どのようなことで困っているか、どのように表現すれば正しいニュアンスで伝えられるかなどを質問できる場面もあり、他機関でどのように対応しているかなどを知ることができ良かったです。

今回の講習会に参加して、業務の上で英語での技術的なコミュニケーション能力を高めたいと思っておられる技術職員と知り合えたことが一つの成果だと思います。互いに共通認識(目標)をもつことができたので、留学生や外国人スタッフに対する機器の利用説明方法などを講習会に参加された方に直接尋ねることもでき、それぞれの創意工夫など情報交換できるようになると思います。

(5) 英語研修のプログラムについて、今後の希望等があれば具体的に教えてください。

講習会で紹介していただいた、パラフレージングの練習  
特定の分析機器に担当者向けの英語研修

(6) ご意見・ご感想・ご要望等ありましたら、ご自由にお書きください。

技術的な英語コミュニケーション能力を高めるための方法を知る良い機会になりました。  
積極的に留学生や外国人スタッフと会話をしていきたいと思えます。

大学連携研究設備ネットワーク事業 研修会 報告書（個人用）

参加講習会名：平成30年度 第一回技術英語研修

日時：平成30年6月29日（金） 13:00～17:00

場所：名古屋大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー（VBL）4F セミナー室

（1）研修会の満足度を教えてください。

大変満足

（2）研修会への参加動機を教えてください。

日々の仕事で外人スタッフや留学生と接する機会が多く、もっとスムーズに英語でコミュニケーションができるようになりたいと思い参加いたしました。また、スムーズではないが何とか言いたいことは伝わるものの、果たしてこれが正しい言い回しなのか？ニュアンスは合っているのか？など気になることが多く、それを正していただける良い機会だと思ったということも理由の一つです。

そして、勉強しようにも理系英語に特化した書籍というのは大変少ないというのも、独学で勉強しづらい点であったので、大変良い機会だと思いました。

（3）研修会で得たものを教えてください。

今回は、下手な英語でも「それで大丈夫です。」「どんどん間違えて、その間違いをシェアしましょう」という場を与えていただけたので、いつもは自信がないため英語を消極的に発信しがちなのですが、たどたどしいなりに堂々と発信できる場を与えていただきましたので、下手な英語を恥ずかしがらずに発信できたのが一番良い点でした。そして、間違いやニュアンスをその場その場で指摘していただけるというのが一番ありがたかったです。

色々な英語の勉強の場がありますが、自分が今勉強したいのはユーザーとのコミュニケーションに必要な技術英語だったので、なかなか希望に沿ったモノがありません。ですので、自分の今の仕事に実際に生かせる内容だったという事が、大変有用であったと思います。

自信がなかった部分が少し自信を持てたので、積極的にコミュニケーションを取りたいと思えるようになった点は大きな収穫だったと思います。

(4) この研修会に参加する事で、どのように機器共用・外部連携等が進むかを教えて下さい。

当拠点はスタッフ全員が英語が得意なわけではないため、外国人ユーザーへのレクチャーやトラブル対応といったものが、今までは得意なスタッフに偏る形になっていました。その部分を少しでもフォローできるようになり、仕事を分担できるようになることで、一部のスタッフに偏っていた負担が軽減できるようになるという事も大きなメリットです。

また、利用ユーザーにとってもスムーズにコミュニケーションが取れるスタッフが多数いるという事は、大変安心できる材料ですし、技術的な相談や実験もスムーズに進められます。今まで、通訳できる人間付きで利用にいられていたユーザーが、一人で安心して利用できるようになるというもの大きなメリットではないでしょうか。

(5) 英語研修のプログラムについて、今後の希望等があれば具体的に教えてください。

初の参加なので良くわかりませんが、今回の内容は自分の希望に大変沿っていて大満足の研修でしたし、大変勉強になった内容でしたので、ぜひ何度も参加してレベルを上げていければと思います。

以前の研修だったと思いますが、外国人ゲストの発表者を招き、その（自分のジャンルではない）発表内容を聞きとり質疑応答をするといったような回は、高度過ぎて自分向きではないなあと思い参加をあきらめたという経緯があります。

結構参加者のレベルには幅があるのでしょうか？参加者のレベルに幅があるという事は、内容も回ごとに高かったり低かったりとなると思うので、ぜひとも研修自体の回数を増やしていただければと思います。そうすると、自分のレベルでも参加できそうな回が1年に一回くらいはまわってくるのかなど。

あと、半日ではなく一日研修など時間を長くしてもらえると、なかなか参加できない人間にとってはありがたいです。

また、今回のように、研修が決まってから「何か今回の研修の内容でリクエストなどありますか？」というような事を聞いていただけたのは大変ありがたかったです。リクエストできたからこそ、希望に沿った研修が受けられたのだと感謝しています。

(6) ご意見・ご感想・ご要望等ありましたら、ご自由にお書きください。

英語研修のお知らせが直接回ってこないの、分子合成プラットフォームには回るようですが、微細加工プラットフォームは代表機関の方が思い出した時だけ回ってくるように思いますので、どこか HP など案内されているのであれば、お知らせいただけるありがたいです。

大学連携研究設備ネットワーク事業 研修会 報告書（個人用）

参加講習会名：平成30年度 第一回技術英語研修

日時：平成30年6月29日（金） 13：00～17：00

場所：名古屋大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー（VBL）4F セミナー室

（1）研修会の満足度を教えてください。

大変満足

（2）研修会への参加動機を教えてください。

これまで海外からの来訪者や、海外への出張等で英語を使う機会がありましたが、いつも相手と満足  
のいくコミュニケーションが取れず後悔していました。今後そうした機会が訪れた時に相手の話した内  
容を理解したい、自分の話した内容を理解してもらいたいという気持ちから今回受講を希望し参加させ  
て頂きました。

（3）研修会で得たものを教えてください。

今回研修会に参加し得たものとして私の中で一番大きいのは、今後も継続して英語を理解してい  
きたいという意欲です。今回他の受講者や講師の梅村さんとのコミュニケーションで自分の英語を理解し  
てもらえた時の充実感や、通じなかった時の悔しさを素直に実感することができ、今後も努力してい  
きたいという気持ちになりました。また、まず間違っただけから学ぶという考えも私にとってこれまでに  
ない、次に繋がる大きな経験でした。これも本研修会での雰囲気の良い、梅村さんのファシリテーショ  
ンが良かったからだと考えています。その気持ちが1日でも長く続くように習慣化していきたいです。

詳細な内容ですと、いくつかの質問や返答に対し相手がどう感じる（感じている）かと、現在完了形の  
使い方など、普段学ぶことが出来ない実際に使えるコミュニケーションツールを教えて頂けたのが良か  
ったです。これまで学内研修等でネイティブスピーカーの講師の方から英語を教える機会が何度  
かあったのですが、伝わり方や感じ方、日本人との感覚の違い等については教えてもらったことはあり  
ませんでした。（私が受講した場合だけかもしれませんが、外国の講師の方は教え方がけっこう大雑把で  
したので、）今回梅村さんから教えて頂いた日本人と外国の方の発言のとらえ方の違いや感覚の違い等  
の説明はとても理解しやすかったですし、気になったことをすぐに質問できその場で教えてもらえるの  
もとても良かったです。

(4) この研修会に参加する事で、どのように機器共用・外部連携等が進むかを教えてください。

まだまだこれからですが、今後海外の方との外部連携があった場合や学内留学生からの機器使用に関する問い合わせがあった場合等に、積極的に話していけるようにしていきたいと考えています。

(5) 英語研修のプログラムについて、今後の希望等があれば具体的に教えてください。

受講する前までは受講時間が4時間もあって自分の集中力が持続できるか心配でしたが、終了後にはまだまだ時間が足りないといった感覚になっていました。もし今回のような研修が今後もあれば午前も含めた終日のプログラムを検討して頂けたら嬉しいです。内容としては今回の研修内容を時間拡張して頂ければと思います。

その他の希望としては、

①サイエンスでの適切な動詞の使い方 [(実験を) 行う、(装置の操作) を行う、(調査を) 行うなどでの使い分け] や文法

②研究発表における質問に対する返答の仕方や、他の研究発表に対する質問の仕方や相手への褒め方

例えば) 英語の自己紹介プレゼン (事前に PPT で資料作成、提出) を行い、各終了後に質疑応答。

全員のプレゼン終了後に、講師の方から発表、質疑応答の話し方やコツをレクチャーしてもらおう。

等を教えてください。②の例に関しては提案しときながら少々不安ではありますが、今回のような失敗して OK! という雰囲気であればできるような気がしています。

(6) ご意見・ご感想・ご要望等ありましたら、ご自由にお書きください。

今回は当研修受講させていただきありがとうございました。とても有意義な経験をさせていただきました。また今後もこのような機会があり、参加させてもらえるようであれば、是非参加させていただきます。